

科目	文学	担当	赤岡 美津子	履修学年	1年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

文学は社会・時代と個人のせめぎ合いによって抽出された結晶である。それぞれの時代・社会の制約の中で懸命に生きた人々の息吹を、作品を通して追体験したい。それを通して、現代に生きる我々の有り様を追求したい。

授業では、日本文学の長い歴史の中から代表的な作品を取り上げ、時代背景や作者の思想・境遇を関連させつつ作品理解と鑑賞を行う。

併せて、グループディスカッションや発表を随所で取り入れつつ主体的参加型授業を旨とする。従って到達目標は、基礎的知見の習得と各時代の文学理解、鑑賞力や「生きる力」の育成である。

【履修注意】

文学をめぐる問題に常に関心を持ち、現代の状況に対して社会的・心理的・文学的側面から検討してみる習慣を持つ。

授業は真摯に「聴」き、発言し、学ぶ者としてのマナーに留意する。

毎回のレポートを完成させ、提出する。

毎回、文学に関わるグループ発表を行う。

その他授業時に指示する。

【評価方法】

定期試験60%・出席点10%・レポート点10%・グループ発表点10%・討論や質疑応答への参加点、マナー点等10%

【試験について】

試験について 中間まとめ・期末テスト実施 何れも筆記試験

期末テストにおいては、5回以上欠席したものは受験資格を有しない

再試験対象者の条件：中間まとめを受講し、かつ出席条件を充たしていること

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針です。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要である。従って授業後の復習と発展学習を行い、新知識の定着を図ること。

【教科書】

教科書不要・各授業時に作成資料を配付、配信

【参考書】

『あなたに語る日本文学』	大岡信	新書館	2376円
『日本文学史早わかり』	丸谷才一	講談社文芸文庫	1296円
『初めて学ぶ日本文学史』	榎本隆司	ミネルヴァ書房	3800円

他、随時紹介

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	「文学」を学ぶに当たって	・授業計画と授業方法・日本文学総論
2	古典文学編 I 大和・奈良時代の文学 1	・口承文学から記載文学へ・古事記の世界
3	古典文学編 II 大和・奈良時代の文学 2	・万葉集の世界
4	古典文学編 III 平安時代の文学 1	・仮名文字と女流文学・伝奇物語と歌物語
5	古典文学編 IV 平安時代の文学 2	・王朝文学の開花 枕草子・清少納言 源氏物語・紫式部
6	古典文学編 V 平安時代の文学 3	・日記文学 土佐日記・紀貫之 紫式部日記 今昔物語
7	古典文学編 VI 鎌倉・室町の文学	・軍記物 平家物語 方丈記・鴨長明 徒然草・吉田兼好
8	中間まとめ	・前半7回のフィードバックと、補習・補足
9	古典文学編 VII 和歌の流れ	・勅撰和歌集の流れ・小倉百人一首
10	古典文学編 VIII 江戸時代の文学	・奥の細道 松尾芭蕉・日本永代蔵 井原西鶴・浄瑠璃・歌舞伎 近松門左衛門
11	近代文学編 I 明治・大正の文学 1	・近代文学のあけぼの 坪内逍遙・言文一致体 二葉亭四迷・自然主義 島崎藤村 田山花袋
12	近代文学編 II 明治・大正の文学 2	・反自然主義 夏目漱石 森鷗外・白樺派 武者小路実篤・新現実派 芥川龍之介
13	現代文学編 I 昭和・平成の文学	・プロレタリア文学 小林多喜二・戦争と文学・無頼派
14	現代文学編 II 昭和・平成の文学	・民主主義文学運動 宮本百合子 中野重治・戦後派
15	現代文学編 III 日本文学の現状	・価値観多様化の時代・文芸思潮不在の時代・ノーベル文学賞 大江健三郎
16	期末テスト	15回の復習・確認・まとめ